

CASBEE-建築(新築)2016年版
アイランドシティ地区小学校(仮称)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40			3.0
1 音環境						3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0		
1.2 遮音						3.0	0.40			
1 開口部遮音性能						3.0	0.30	3.0		
2 界壁遮音性能						3.0	0.30	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	0.20	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.20	3.0		
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0		
2 温熱環境						2.0	0.35			2.0
2.1 室温制御						3.0	0.50			
1 室温						3.0	0.60	3.0		
2 外皮性能						3.0	0.40	3.0		
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-		
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式						1.0	0.30	3.0		
3 光・視環境						3.9	0.25			3.9
3.1 昼光利用						4.6	0.30			
1 昼光率		教室の昼光率4.7%				5.0	0.60	3.0		
2 方位別開口							-	3.0		
3 昼光利用設備		北側階段の外壁に全面採光窓を設けている				4.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策						4.0	0.30			
1 昼光制御		庇、カーテンによりグレアを制御				4.0	1.00	3.0		
3.3 照度		平均照度=681.16lx				4.0	0.15	3.0		
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0		
4 空気質環境						3.7	0.25			3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質		ほぼ全面にF☆☆☆☆を採用				4.0	1.00	3.0		
4.2 換気						3.6	0.30			
1 換気量						3.0	0.33	3.0		
2 自然換気性能		有効開口面積が1/10以上有り				5.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	3.0		
4.3 運用管理						3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御						3.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.4
1 機能性						4.0	0.40			4.0
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40			
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0		
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0		
3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている				4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30			
1 広さ感・景観						3.0	0.50	3.0		
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-		
3 内装計画		教室の床はフローリング、天井は吸音用孔あきせつこうボード採用				5.0	0.50			
1.3 維持管理						4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		トイレ床はビニール床を採用				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		清掃用流しを設置				4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30			3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上水にライニング管、排水に塩化ビニル管を採用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.4	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		節水便器を採用、雨水を中水として再生利用				4.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備		盤類を地下に配置していない				4.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率が0.157%	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出		環境配慮指針の自然環境情報地図確認。敷地にヒート・グリーン地を計	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		敷地内の外周の緑化と壁面緑化でまちなみの景観に努めている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BEIm=0.64	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.64	4.6	0.50	-	-	4.6
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		節水コマ付ホーム水洗、節水便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		雨水を再利用している	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		陶磁器質タイル、集成材、合板、フローリング、ビニル系床材	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		吹付硬質ウレタンフォームA種1(ODP=0,GWP=1)を使用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率が831%	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		車入口は双方向走行が可能な幅を確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.60	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	0.20	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		屋外広告灯の設置なし	4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	